

令和4年度地方創生推進交付金事業評価シート

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション			
①基本事項					
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R3年度～R5年度
②事業概要					
鳥取市による『サスティナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和3年度SDGs未来都市に選定された。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進める。					
③令和4年度実施事業					
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等	
				実施事業を含む予算中事業名	
1	持続可能な農業経営に向けた取り組み	(1) 地元リサイクル材活用支援、自然エネルギーを活用したスマート農業実装支援 環境に優しく生産性の高い農業生産（畜産農業を含む。）を推進するため、地元リサイクル材を活用した農業の実施に係る経費の一部を支援する。自然エネルギー100%の電力を活用したスマート農業モデルを手掛ける事業者に対し、投資の一部を支援する。	●昨年度に引き続きホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室	
				SDGs未来都市推進事業	

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション		
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
2	都市部から地方への人材確保の取組み	(1)ワーケーションプログラムの企画、サテライトオフィス等誘致支援業務 ●ワーケーションプログラム 県外の方に、鳥取市のSDGsの取り組みを知っていただき、本市に関心をもっていただく機会を作るため、持続可能なまちづくりを題材としたラーニングワーケーションプログラムの企画モニターツアーを行う。 ●サテライトオフィス誘致 地域資源や地域課題を盛り込んだ「鳥取市誘致戦略」で定めるターゲット業種のサテライトオフィス等の誘致に向け、受託者のノウハウを活用したマッチング業務を委託する。	●鳥取県外に本社のある企業や団体から6社6名が参加した。参加者の評価は概ね高く、本プログラム終了後も継続的に意見交換を行ったり、本市の資源を活用した事業を検討いただいたりと、関係人口の構築に繋がった。 ●本市への進出を検討いただける企業を調べるためのフォームマーケティングやテレマーケティングを行い、オンライン説明会及び本市視察の機会を積極的に作ることで、1社の誘致につながった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				SDGs未来都市推進事業
		(2)交流・研修施設整備支援 本市でワーケーションを行う企業や個人が、テレワークや地域交流に活用するための交流・研修施設の整備に係る経費の一部を支援する。	●市内でテレワークや地域交流ができる空間を整備する事業者2社に対し、補助制度を活用いただいた。（令和4年度実績2件、計1,202千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				SDGs未来都市推進事業
		(3)とっとりワーケーションネットワーク協議会運営支援 鳥取市、鳥取県、鳥取商工会議所、麒麟のまち観光局や各ステークホルダーとともに2022年4月に設立した「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援する。	●とっとりワーケーションネットワーク協議会に対し、補助事業として運営支援を行った（補助率1/2、補助金額1,000千円）。 ●協議会の情報発信事業として、協議会ウェブサイトの立ち上げと更新管理を行った。	経済観光部 企業立地・支援課
				オフィス移転・新設支援事業費

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション		
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み	(1)環境意識向上事業支援 民間事業者等が行うSDGsに対する意識向上に繋がる仕組みづくり（啓発用アプリの構築や普及グッズの開発等）に係る経費の一部を支援する。	●昨年度に引き続きホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				SDGs未来都市推進事業
		(2)微生物発電実装事業支援 耕作放棄地を活用した微生物発電を実装するための経費の一部を支援する。	●微生物発電の実証実験を行っている企業に本制度を活用いただいた。発電効率が最も高くなるガラス発泡材の素材開発につながり、LED電灯の点灯や、実験圃場に近接する桜のライトアップが行われた。 （令和4年度実績1件、3,000千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				SDGs未来都市推進事業

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション		
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
4	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組みを高める統合的な取組	(1)SDGs未来都市プロジェクト推進協議会の運営 各ステークホルダーを集めた連絡協議会を立ち上げ、SDGs未来都市プロジェクトの経済・社会・環境側面の取り組みの有機的な接続を図る。	●企業立地・支援課内にSDGs未来都市推進事務員を配置し、本市の取り組みの情報発信を行った。 ●SDGs未来都市の周知、啓発を目的として、シンボルロゴマークの公募を行った。全国から172人・216件の申込をいただき、選考委員の審査により、1件を決定した。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
		(2)各種ツールを用いた情報発信、啓発セミナー等の開催 SDGs未来都市啓発用パンフレットの作成、情報発信用Webページの更新・保守、情報発信用動画の作成を行う。 「SDGs」とは何か、「鳥取市SDGs未来都市」とはどんな取り組みか、啓発するためのセミナー等を開催する。	●SDGs未来都市パンフレットを作成し、啓発を行った。 ●本市の取組を周知するためSDGs未来都市特設サイトの運営・保守を行った。あわせて、ワーケーションの啓発、SDGsの座談会等の動画を制作した。 ●鳥取市に拠点を置いているまたは、鳥取市への進出に興味がある事業者向けに、SDGs経営の実践に向けたセミナーを開催した。参加人数：43団体54人	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
		(3)啓発セミナー等の開催 市内小学校を対象に、温暖化をはじめとする地球環境問題を理解してもらい、その対応策である再生可能エネルギーの活用や省エネ意識・行動の有用性を訴求するような出前授業を実施した。	●7校の小学校から応募があり、延べ286人の児童を対象に出前授業を実施。 ●域内再生可能エネルギー施設見学等、実地での学習も交えたプログラムとして提供。「見学1日＋座学1日」の2日間のプログラムを基本とし、ワークや振り返りの時間を設けるなど学習効果を深める工夫を行った。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
				スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費
		④事業費について		
		総事業費	18,967,179	円
		財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	9,483,589 円
			その他の特定財源	0 円
			一般財源	9,483,590 円

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション					
⑤重要業績評価指標（KPI）							
指標1	指標名	鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数（社／年度）					
	関連する事業番号	1・3・4		担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	目標値	－	15	37	62		
	実績値	0	15	20			
	達成率	100.0%		54.1%			
指標2	指標名	再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額（千円／年度）					
	関連する事業番号	1		担当部（局）・課等		経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	目標値	－	500	800	1,500		
	実績値	0	4,680	15,327			
	達成率	936.0%		1915.9%			
指標3	指標名	ワーケーションをきっかけとした移住相談者数（人／年度）					
	関連する事業番号	2		担当部（局）・課等		経済観光部 企業立地・支援課	
		基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	目標値	－	0	15	25		
	実績値	0	0	0			
	達成率	-		0.0%			
内部評価		内部評価基準 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 ⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合					
③							

事業名	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション
⑥今後の方針について	
事業番号 1	持続可能な農業経営に向けた取り組みとして、環境に優しいスマート農業の実践モデルを市内に増やすために、企業による農業参入を希望される企業とのマッチング活動を引き続き進めていく。また、地元リサイクル材を活用した環境に優しく生産性の高い農業経営を進めていく。
事業番号 2	都市部から地方への人材確保の取組を進めていくため、令和4年度に実施したラーニングワーケーションプログラムのブラッシュアップを図る。また、鹿野町の地域課題解決をテーマに、都市圏の多様な業種・職種の人々がチームを組み地元事業者とコラボしたワーケーションプログラムが新たに実現できるよう支援を行っていく。 併せて、都市圏企業による地方進出のきっかけづくりのため、また関係人口創出のため、引き続き「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援し、市内を舞台にしたワーケーションを実施する。また各種ワーケーションイベントの実施に当たっては、移住定住担当部署と連携することにより、ワーケーションをきっかけとした移住定住に繋げていく。
事業番号 3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取り組みとして、民間企業が主体となって行っている微生物発電の実用化に向けた取組に本市も参画し、経費における支援を引き続き行う。また、環境省より令和5年4月28日採択された脱炭素先行地域の取り組みとの連携を図ることで、より効果の高いカーボンフリーなまちづくりを進めていく。
事業番号 4	事業番号1～3の取り組み効果を高める統合的な取り組みとして、引き続き広く情報発信、啓発事業を行っていく。また、行政だけでなく、鳥取市SDGs未来都市の各ステークホルダーも積極的に情報発信を行っていただくことで、本市の取り組みのさらなる認知拡大につなげる。
⑦総合企画委員評価（外部評価）	
外部評価	外部評価基準
②	①KPI達成に有効であった ②KPI達成に有効とは言えない

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション		
意見等 No.	事業 番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	2	「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の事業内容と運営状況、また市がどのような運営支援を行ったのか知りたい。	本協議会は「鳥取でなければ体感できない新たなワークスタイル・ライフスタイルを実現することにより、鳥取らしさの誇りの醸成及び関係人口を増加させ、もって地域活性化と経済の発展及び企業人材が鳥取へ来訪するきっかけづくりに寄与すること」を目的として、令和4年4月に設立されました。 主な事業内容はワーケーション推進事業（ワーケーションに関する講演会の開催・各種モニターツアー共催・セミナー共催等）、情報発信事業（協議会ウェブサイト更新管理・各種メディアを活用した広報活動）、ネットワーク構築事業（協議会会員募集活動）等です。 本協議会は鳥取県、鳥取市、鳥取商工会議所、麒麟のまち観光局が中心となって運営しており、事務局は麒麟のまち観光局が行っております。 本市は関係人口増加のために、鹿野地域における持続可能なまちづくりを舞台とした越境学習プログラム「ラーニングワーケーション」のモニターツアーの実施、鳥取で暮らす人材と都市部の関係人口メンバーでチームを組み、鳥取市中心市街地のまちづくり課題に取り組む「まちづくりワーケーションプログラム」を実施するとともに、主に県外企業に対し、本協議会の取組を含めたとっとりワーケーションのPRを行っております。 また令和4年度は事業費2,000千円については、鳥取県・鳥取市がそれぞれ1,000千円ずつ補助金を交付し運営支援を行いました。	経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室
2	3	環境意識向上事業支援等は、ホームページだけでなく、媒体でのPRやイベント開催等が必要ではないか。昨年ベースの広報で応募状況が芳しくない事業については、広報のテコ入れが必要。	本市ではSDGs未来都市計画の周知に向け、特設専用サイトを開設し、積極的な広報に努めておりますが、SNSやYouTube動画制作による情報発信、パンフレット・チラシの制作、出前授業での説明、企業向けセミナーの実施等、様々な周知活動に取り組んでまいりました。しかし、事業の内容が浸透しているとは言い難い状況です。 今後は、本市だけでなく、SDGs未来都市計画に関わるステークホルダーにも情報発信にご協力いただくよう話を進め、官民連携によって広報活動を進めていくよう、取り組んでまいります。	経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室

事業名		「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション		
意見等 No.	事業 番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
3	1～4	SDGs未来都市として鳥取市がゴールを目指すためには、各ステークホルダーを頼ること以上に、行政サイドも一緒に汗をかき、協働・行動することが必要ではないでしょうか。	本市SDGs未来都市計画の達成に向けては、各ステークホルダーの取り組みだけでなく、本市も積極的に事業を実施し、官民連携によって相乗効果を高めていく必要があると考えています。 具体的には、特設サイトや各種SNS等による情報発信、市民・企業向けセミナーの実施、ステークホルダーが手掛ける事業が加速されるような積極的支援等を実施しております。 また、企業版ふるさと納税による寄附をいただくための営業活動など、財源確保に向けた活動も続けていき、持続可能な取り組みとなるよう、官民連携で取り組んでまいります。	経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室
感想等 No.	事業 番号	ご感想等の内容		担当課
1	1～4	本事業に関連づけて指標1及び指標3を達成することは極めて困難である。特に指標3については、「とっとり型ワーケーション」が雇用創出、移住促進につながるのか不明である。テレワークになじむのかも疑問がある。		経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室
2	1～4	崇高な事業目標のため、一つ一つの方針、方向性は正と考えるが、個々の方針の説明不足は否めない。これからの啓発活動に期待します。		経済雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室